

国語

注意

- 1 問題の□は放送による検査です。問題冊子は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題冊子は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上には、受検票・えんぴつ（シャープペンシルも可）・消しゴム・えんぴつけずり以外の物を置いてはいけません。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷が悪くて分からないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 監督者の「やめ」という合図ですぐにやめなさい。

答えの書き方

- 1 答えは問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書かいしよで書きなさい。

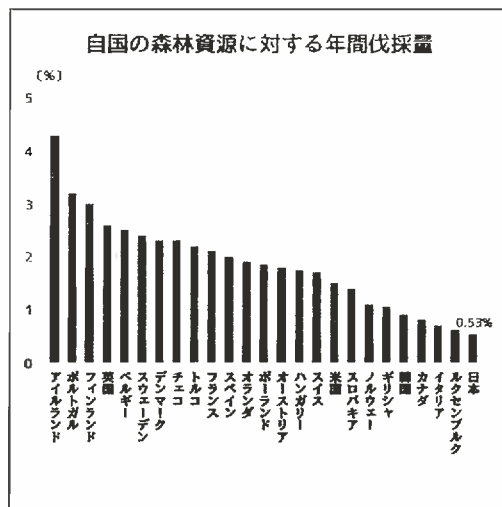
【資料1】

国土における世界各国の森林面積率
2020年 (OECD加盟国)

1. フィンランド (73.7%)
2. スウェーデン (68.7%)
3. 日本 (68.4%)
4. 韓国 (64.5%)
5. スロベニア (61.5%)

出典：林野庁

【資料2】



出典：森林・林業学習館

2 次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次のア～オの——の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コの——のカタカナの部分かじりを楷書で漢字に書き改めなさい。

- ア 自然の摂理に従う。
- イ 読書に没頭する。
- ウ 行事の成功に寄与する。
- エ 工夫を凝らす。
- オ 手紙を添える。
- カ 米をチヨゾウする。
- キ 厳しいセイヤクを受ける。
- ク 改革案をテイシヨウする。
- ケ 荷物をトドける。
- コ 的をイタ質問だ。

(2) 次のア、イの——のカタカナの部分かじりを漢字で表したとき、その漢字と同じ漢字が使われている熟語を、それぞれあとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を書きなさい。

- ア 山中のヒキヨウを訪ねる。
 - 1 状況
 - 2 境界
 - 3 郷里
 - 4 教会
- イ シキユウ、連絡をください。
 - 1 支配
 - 2 至上
 - 3 開始
 - 4 指示

3 次の文章を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。(12点)

【漢文】

宋人ニ有リ耕田者。田中有株。兔走触株、折頸而死。因積其耒而守株、冀復得兔。兔不可復得、而身為宋国笑。

【書き下し文】

宋人に田を耕す者有り。田中に株有り。兔走りて株に触れ、頸を折りて死す。因りて其の耒を積りて株を守り、復た兔を得んことを冀ふ。兔復た得べからずして身は宋国の笑ひと為れり。

(現代語訳)

宋の国の人に、畑を耕している人がいた。その畑の中に木の切り株があった。ある日そこへウサギが走ってきてその切り株にぶつかり、首の骨を折って死んでしまった。そこでその男は持つていたすき(土地を耕す道具)を捨てて、切り株を見守り、もう一度ウサギを手に入れたいと願った。しかしウサギは二度と手に入れることは出来ないで、その男は宋の国中の笑い者となった。

(注) 順接の意味を持つ字で読まない。

——『韓非子』より——

(1) 有耕田者に、【書き下し文】を参考にして、返り点をつけなさい。

(2) 本文には以下のような続きがある。【A】、【B】に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

【書き下し文】

今先王の政を以つて、当世の【A】をおさめんと欲するは、皆【B】を守るの類なり。

(現代語訳)

今前代の王の古い政治のやり方で、現在の【A】をおさめたいと思うのは、皆この【B】を守るのと同じようなものである。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A | 民 | B | 株 | 2 | A | 民 | B | 兔 |
| 3 | A | 国 | B | 兔 | 4 | A | 国 | B | 宋 |
| 5 | A | 税 | B | 宋 | 6 | A | 税 | B | 株 |

(3) この【漢文】では、どのような意味の教訓を述べていますか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 過ちを犯したら、ためらうことなくすぐに改めよ、という意味。
- 2 負け惜しみの強いこと、または、ひどいこじつけ、という意味。
- 3 古い事柄を研究して新しい知識や意義を見いだす、という意味。
- 4 いつまでも古い習慣にとらわれて融通がきかない、という意味。

4

次の文章は、特別に大切な人とコミュニケーションを取る時の状況について説明したものです。この文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。(22点)

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

——内田樹『先生はえらい』より——

(1) 話の展開は微妙に変わってきます。とありますが、本文中の語句を用いて、次のようにまとめました。□に入る適切な内容を、三十文字以内で書きなさい。

特別に大切な人と話す場合は、聴き手の反応を見て、□など状況を見て態度を使い分けている。

(2) ある学級で、国語の時間に、さて、この話を語ったのは誰でしょう？について話し合いをしました。次は、佐藤さんのグループで話し合っている様子です。□A、□B、□Cに入る最も適切な語句を、□A、□Bは十五文字、□Cは三字で、それぞれ本文中からそのまま抜き出して書きなさい。

佐藤 この話を語ったのは、話し手だろうか。

木村 話し手が話した内容は□Aことではないと筆者が言っているから、微妙に違うんじゃないかな。

山本 じゃあ、「こんな話を聴きたい」と思った聴き手ということ？

木村 惜しいね。話し手が□Bものの働きだと筆者は言っているよ。

工藤 その意味で筆者は、この話を語っているのは、□Cと言っているんだね。

(3) (A)に入る最も適切な語句を、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 平凡
- 2 奇妙
- 3 神聖
- 4 愉快

(4) 相手の気持ちを真剣に配慮しながら対話をしているとき、とありますが、そのときの話し手の状況の説明として最も適切なものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 聴き手の願望を正確にかなえることが大切である。
- 2 聴き手に伝わるように工夫することが重要である。
- 3 聴き手と協力して対話を作ることが必要である。
- 4 聴き手の態度に関わらず予定通り話すことが大事である。

(5) この文章に関する表現の説明として適切でないものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 地の文だけでなく会話文を用いることで、具体的な対話の場面がイメージできるようにしている。
- 2 「でもなく」の後に自分の主張を述べることで、読者の理解がより深まるようにしている。
- 3 「さて」「では」などの言葉を利用することで、さらに話題を掘り下げようとしている。
- 4 疑問文を使って読者に判断を委ねることで、多様な解釈が生まれるように工夫している。

5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から 掲載いたしません

(1) ある事とありますが、その内容として適切なものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「赤間ひろ子」に、いつも意地悪な「奥村」が、三角定規と分度器をわざわざ袋に入れて貸したこと。
- 2 「秀美」が「赤間ひろ子」と「奥村」のやりとりを見ていたことを、「奥村」に注意されたこと。
- 3 「奥村」に三角定規と分度器を貸してもらった「赤間ひろ子」が、頬を真っ赤に染めていたこと。
- 4 「子供たち」が見ていないふりをしながら、「赤間ひろ子」と「奥村」のやりとりを見ていたこと。

(2) ② 謎が解けたとありますが、この内容について次のようにまとめました。
Aには「謎」の内容を三十五字以内で書き、Bには「謎」の解答を本文中から十五字以内でそのまま抜き出して書きなさい。

「赤間ひろ子」は、自宅の庭に来る鳥のためにいつも給食の残りのパンを回収しているが、今まで「秀美」はAと不思議でならなかった。しかし、今日の教室での皆の様子を見て、あのパンはBと確信した。

(3) ③ 秀美の心に衝撃を与えたとありますが、「衝撃」の内容を、「秀美」の思いをふまえながら次のようにまとめました。
Aは十三字で、Bは二字で、それぞれ本文中からそのまま抜き出して書きなさい。

「秀美」は今まで、「赤間ひろ子」が大量のパンを持ち帰ることや先生から定規を借りることを何気なく見ていた。しかし、教室の空気から、「子供たち」全員がAということを知った。クラスで知らないのは「秀美」だけであって、周囲からつまはじきにされている自分を自覚し、Bとした。

——山田詠美「ぼくは勉強ができない」より——

(注1) 困窮……貧乏で苦しむこと。

(注2) 怪訝……不思議で納得がいかない様子。

(4) 音のない溜息が押し寄せて来る とありますが、この表現の内容として適切でないものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「赤間ひろ子」の真実に気づいた「秀美」を、自分たちと同類だと「子供たち」が自然と受け入れたことが表現されている。
- 2 「秀美」が「赤間ひろ子」に対してとつた行動は取り返しのつかないことだと、皆が暗に非難していることが表現されている。
- 3 「赤間ひろ子」の状況を悪意もなくさらけ出してしまった「秀美」の鈍感さを、皆が問題視していることが表現されている。
- 4 「赤間ひろ子」に同情もせずに勝手気ままに行動し続ける「秀美」を、皆が心の中でののしっていることが表現されている。

(5) 本文中の□の中には同じ熟語が入ります。その二字の熟語を考えて書きなさい。

(6) この文章の表現の特徴について述べたものとして最も適切なものを、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 本文は全て主人公の視点から描かれており、他の登場人物の気持ちを主人公が推測する形で表現している。
- 2 文中にある「……」は、全部言わない方がよいと登場人物がさりげなく気遣っているときに使われている。
- 3 途中に過去のシーンを挟むことで、その時の行為の意味を、主人公が今理解したことが浮き彫りになっている。
- 4 「きよろきよろ」と「くつきり」となどの表現により、学校になじめない主人公の様子が表現されている。

6 次の【資料】は、近年、入学試験や就職試験の中で、面接を対面からオンラインに切り替える状況が増えていることについて書かれたものです。これを読んで、あとの(1)〜(3)に従って文章を書きなさい。(10点)

- (1) 題名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、それぞれの段落に次の内容を書くこと。
 - ・ 第一段落では、あなたの考える対面式の面接とオンラインの面接の良いところを、それぞれ書くこと。
 - ・ 第二段落では、第一段落の内容を踏まえて、あなたはどちらの面接の形式に賛成するか、理由を挙げながら書くこと。

(3) 百五十文字以上、二百字以内で書くこと。

【資料】

近年の社会情勢の中で、面接試験を対面からオンラインに切り替える動きが出ている。この動きに賛同する人たちがいる一方で、従来通りの対面式の面接を支持している人も少なくない。どちらの立場にもメリットやデメリットがあることを自覚して、よりよい選択をしておく必要があるだろう。